

生成 AI の活用にかかる教職員研修の実施について

1 概 要

希望研修「生成 AI 基礎講座」として、7月にオンライン、8月にセンター集合で実施した。受講対象は、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校の校長や教員であった。また、生成 AI を活用する上での基本的な考え方やガイドラインを理解し、校務や授業における生成 AI の活用方法を研修受講者自らが考え、生成 AI の活用促進を図ることを目的として実施した。

2 実施日

(1) 令和6年7月16日(火)

「生成 AI の活用基礎」【オンライン研修】

(2) 令和6年8月9日(金)

「先生と一緒に考える授業のための生成 AI 活用」【センター集合研修】

「先生と一緒に考える校務のための生成 AI 活用」【センター集合研修】

3 内 容

(1) 「生成 AI の活用基礎」

【受講者】73名(小中義務35名、高校25名、特支13名)

- ・生成 AI の現状、文部科学省のガイドラインについて
- ・学校現場での活用事例の紹介
- ・社会における生成 AI の役割について

(2) 「先生と一緒に考える授業のための生成 AI 活用」

「先生と一緒に考える校務のための生成 AI 活用」

【受講者】71名(小中義務41名、高校30名、中等教育学校2名、特支8名)

- ・生成 AI とは何か? (解説)
- ・生成 AI の種類の紹介(画像、動画、音声ソフトの紹介・体験)
- ・子供たちにどう使わせればいいのか? (暫定ガイドライン・生成 AI の危険性の紹介)
- ・活用応用編
授業での具体的な活用事例(英語、社会の紹介)
業務での具体的な活用事例(文章の要約等)

4 成果と課題

○今回は生成 AI とは何かを説明したり、紹介したりすることを中心とした初歩的な研修会であった。多くの参加者が集まり、研修後の回答でも「大変有効であった」が8割以上であったことから、学校現場における生成 AI の活用に向けての期待が大きいことが実感できた。

○本講座を通して、参加者の多くが「生成 AI ×教育」のもつ新しい教育、これからの学校の姿を具体的に思い描き、探求することができた。

◇参加者の意識として特に授業での活用事例や効率的な教材研究、事務作業の効率化への期待が高く、今後も計画的・継続的な研修体系の中で深められるように準備していく必要がある。

◇学校現場では生成 AI の導入に向けて懸念している様子も感じられたので、現場の不安感を解消しながら効果的に使っていくための具体策を検討していく必要がある。